

患者の危険行動に対する看護師のストレス

○田中将巳 濱下静香 出口裕美 土肥陽子
県立安芸津病院

【目的】

現代社会はストレス社会とも言われ多くの方がストレスを感じている。高齢の患者は環境の変化に適応できない事で不穏状態になりやすく、また治療に必要な点滴・尿道留置カテーテル・胃管・イレウス管等の自己抜去やベッドからの転倒・転落の危険行動を起こしやすい。患者の危険行動は看護師のストレスになっている現状がある。先行研究では、患者の危険行動に対する看護師のストレスについて明らかにされていなかった為、患者の危険行動に対する看護師のストレスの内容を分析し関連性について検証する事を目的とした。

【研究方法】

対象は研究の趣旨に同意を得られた看護師 18 名で、研究期間は平成 22 年 6 月 1 日～10 月 20 日。患者の危険行動に対するストレスについて独自に作成した質問紙を用いて平成 22 年 7 月 11 日～7 月 25 日の期間アンケート調査を実施した。調査結果は単純集計し回答内容を研究者間で要約し、類似性のあるものに分類し、カテゴリー名をつけた。内容は共同研究者間で意見が統一されるまで分析した。

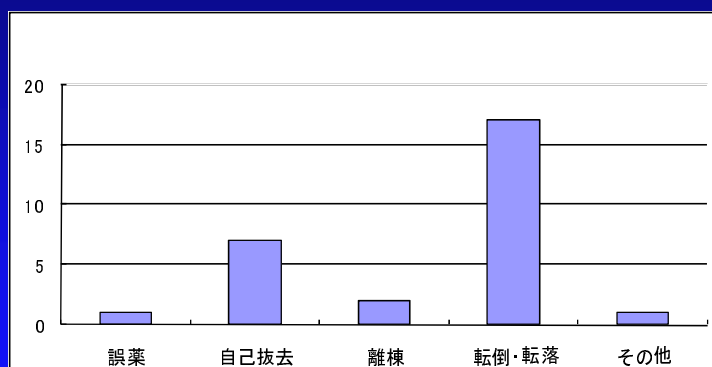
【倫理的配慮】

アンケート調査は無記名で行い対象者に研究データや結果は本研究以外では使用しないこと、データは個人が特定されないよう厳重に管理すること、参加の可否に関わらず不利益が生じないよう配慮する事を文書及び口頭にて説明し同意を得た。研究委員会において倫理的配慮の審査を受け承認を得た。

【結果および考察】

1. 患者の危険行動でストレスを感じたことがあるかについて、「ある」が 18 名 (100%)、「ない」が 0 名 (0%) で、看護師全員が患者の危険行動でストレスを感じたことがあると回答した。
2. 患者の危険行動でストレスを感じた時どのような場面・行動だったかについて、

ストレスを感じた場面・行動について



転倒・転落に関する場面が 17 名 (61%) で 1 番多く、次にチューブ類の自己抜去 7 名 (25%)、離棟 2 名 (7%)、誤薬 1 名 (3.5%)、その他 1 名 (3.5%)、の順であった。

3. 危険行動が起きたときのストレスは何かについて、「危険行動を経験した時の看護師の心理」、「危険行動を起こす患者の特性」、「看護師自身に対するジレンマ」の3つのカテゴリーに分類された。

看護師の心理

- 早めに対策をしておく必要があったと自分を責める
- 不可抗力でも責任を問われてしまう
- 担当看護師に責任が問われてしまう
- 転倒により二次的トラブルを生じていないかという不安
- 離床時、事故や迷子にあっていないかという不安
- 転倒・転落に対する不安、責任感、落ち込みがある
- 出来る限りの策をとったが、限界を感じた
- 自分がインシデントを起こしてしまったという自己嫌悪や罪悪感

患者の特性

- 高齢のため理解力が低下している
- 繰り返しの説明
- 高齢なため説明に時間がかかる
- 認知症の人には安全面について何を言っても理解してもらえない
- 患者自身が離床センサーを除去してしまう
- 足元から柵を乗り越える
- 患者の行動は時間がかかる
- 危険回避のため頻回な訪室が必要

ジレンマ

- 時間に追われ十分に関わることができない
- 精神的余裕がない自分に対するストレス
- 他にも業務はあるのに思うようにできない
- 危険行動をおこす患者を1人にはできない状況があるのに他患者の対応もしなければならない
- 治療のため、抑制が必要な人に拘束を与えてしまった
- 危険回避は患者のためだが、自分たちのためにやっているのではないかという思い

1. 危険行動を経験した時の看護師の心理は「早めに対策をしておく必要があったと自分を責める」、「出来る限りの策をとったが限界を感じた」、「不可抗力でも責任を問われてしまう」、「二次的トラブルを生じていないかという不安」、「インシデントを起こしてしまったという自己嫌悪や罪悪感」、などがあり、「責任」、「不安」、「落ち込み」、「限界」、「自己嫌悪」、「罪悪感」、などの心理状況と関連があった。2. 危険行動を起こす患者の特性は「高齢による理解力の低下」、「認知症による理解力の低下」、「繰り返す危険行動」があげられた。看護師が繰り返し説明しても、「患者自身が離床センサーを除去してしまう」、「足元から柵を乗り越える」、「何を言っても理解してもらえない」状況があり、看護師は、患者の危険行動が繰り返されることにストレスを感じていた。

3. 看護師自身に対するジレンマは

看護師は①限られた時間と人員の中で業務を行わなければならないこと、②患者に対する倫理的な配慮、の2つにジレンマを感じていた。

【結論】

①患者の危険行動は、看護師のストレスの原因となる。②患者の危険行動に対する看護師のストレスは、「危険行動を経験した時の看護師の心理」、「危険行動を起こす患者の特性」、「看護師自身に対するジレンマ」と関連性があった。